

萩市企業景況調査

DI方式

令和6年10月～12月期 実績
令和7年1月～3月期 予測

《調査機関》
萩商工会議所

DI（ディフュージョン・インデックス）方式とは？

DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向
（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナス
の値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が
多いことを示す。

◎DI＝（増加・好転など「良い」の回答割合）
－（減少・悪化など「悪い」の回答割合）
※設備投資は割合（％）

景況の概要 人材不足、物価高や需要停滞の懸念から厳しい見方。

令和7年1月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり（調査対象企業：萩市内60社、回収率90％）。

生産・売上 前期比は建設業・卸売業以外の業種で増加となった（平均14.8％）。年末需要の下
支えを受け小幅ながらも業況は改善傾向となった。前年同期比では製造業が横ばい、小売業が減少、
それ以外の業種は増加となった（平均11.1％）。今後（1～3月期）の見通しでは、建設業が増加、
小売業が横ばい、それ以外の業種は減少すると予測（平均▲33.3％）し、季節要因など業種間にば
らつきが見られるが、総じて長引く物価高による需要の停滞感がうかがえる。

収益 前期比は建設業が横ばい、製造業・卸売業が減少、それ以外の業種は増加となった（平均
1.9％）。前年同期比では建設業・サービス業が増加、小売業が横ばい、それ以外の業種は減少と
なった（平均0.0％）。今後（1～3月期）の見通しでは、建設業・小売業が増加、それ以外の業種
は減少すると予測するなど悲観的な見方が強い傾向にある（平均▲31.5％）。

資金繰り 前期比は建設業・サービス業が好転、小売業が横ばい、製造業・卸売業・観光関連業が
悪化（平均▲1.9％）。今後の見通しでは、建設業が好転、それ以外の業種は悪化すると予測（平
均▲20.4％）。

従業員数 依然として全業種で人員不足という業況が続いている（平均38.9％）。

経営上の問題点 ①人材の確保難29.6％②需要の停滞・仕入れ価格の上昇25.9％③設備・店舗の
老朽化7.4％の順となった。

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、全業種で停滞と予測（平均▲46.3％）しており、長引
く物価高による需要の停滞、深刻な人材不足や適正な価格転嫁への対応等、経営課題は多く依然と
して先行きは厳しい見方となっている。

景況に関する生の声 ■新築着工数が減少傾向にあり、しばらく続くと予想される（製材業）。

■物価上昇による消費者の買い控えによる需要の停滞が起きている（専門品店）。■深刻な人材不
足である（旅客運送）。■原材料費の上昇に伴い、仕入れ価格が上昇している。昨年販売価格を引き
上げたが、再度引き上げる事も検討しなければならない（特産品販売）。

項目／業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光 関連業	平均	前年 平均	前々年 平均
生産・ 売上	前期比	▲20.0	44.4	▲37.5	25.0	30.0	44.4	14.8	14.8	39.6
	前年同期比	20.0	0.0	12.5	▲25.0	30.0	22.2	11.1	▲1.9	11.3
	7年1月～3月期見通し	20.0	▲66.7	▲62.5	0.0	▲40.0	▲55.6	▲33.3	▲29.6	▲24.5
収 益	前期比	0.0	▲11.1	▲50.0	12.5	40.0	11.1	1.9	13.0	24.5
	前年同期比	10.0	▲11.1	▲12.5	0.0	20.0	▲11.1	0.0	▲14.8	5.7
	7年1月～3月期見通し	30.0	▲66.7	▲62.5	12.5	▲60.0	▲44.4	▲31.5	▲33.3	▲30.2
資金繰り	前期比	10.0	▲11.1	▲12.5	0.0	10.0	▲11.1	▲1.9	▲7.4	1.9
	7年1月～3月期見通し	10.0	▲11.1	▲37.5	▲12.5	▲50.0	▲22.2	▲20.4	▲22.2	▲18.9
従業員数 6年12月末		70.0	22.2	12.5	25.0	60.0	33.3	38.9	46.3	43.4
設備投資	（実績）	20.0	55.6	0.0	12.5	50.0	0.0	24.1	18.5	30.2
	（計画）	30.0	11.1	37.5	12.5	30.0	0.0	20.4	22.2	39.6
業界動向		▲20.0	▲55.6	▲75.0	▲37.5	▲60.0	▲33.3	▲46.3	▲40.7	▲34.0